

Title	Gallia 57号 報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2018, 57, p. 138-140
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69860
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

報 告

講義題目 (2017年度)

- 和田 章男 教授 (講) フランスの作家たちと音楽 (共通)
 (講) 名作でたどるフランス文学の歴史(山上教授と共同、学部)
 (演) ジャン・コクトー『恐るべき子供たち』を読む
 (学部・修士)
 (演) プルースト『ソドムとゴモラ』研究 (大学院)
- 山上 浩嗣 教授 (演) ラシーヌ『アンドロマック』を読む (学部・修士)
 (講) パスカル『パンセ』を読む (1学期) (共通)
 (演) モンテーニュ『エッセー』を読む (大学院)
- Éric Avocat 特任准教授 (演) Exercices pratiques de langue française (学部)
 (演) La chanson française : poésie, histoire, société
 (1学期) (学部・修士)
 (演) L'écriture des journalistes : étude et pratique
 (2学期) (学部・修士)
 (講) Initiation à l'écriture académique (大学院)
 (演) Introduction au romantisme français : poésie, théâtre,
 littérature, sensibilité (大学院)
- 岩根 久 教授 (講) フランス・ルネサンスにおける古典の受容と詩の実践
 —プレイアード派を中心に— (2学期) (共通)
- 森本 淳生 講師 (講) レチフ・ド・ラ・ブルトヌと〈近代文学〉の生成
 —文学場・周縁性・両義性 (1学期) (共通)

卒業論文 (2016年度)

- フランス語における歯擦音の古フランス語期からの通時的研究
 田 中 聖 人
- ラディゲ『ドルジェル伯の舞踏会』における「田舎」の機能
 堤 崎 暁
- 『バジャゼ』における視線と令状—アミュラ帝の不在をめぐる—
 角 田 郁 晃
- ロマンティック・バレエ『ジゼル、又はウィリ達』における男性登場人物と男性観客
 の関係について
 道 廣 千 世

修士論文 (2016 年度)

La condition de la femme chez Mme de Staël, entre Rousseau et Mary Wollstonecraft

植村実江

Métaphores et Métamorphoses de l'orgue chez Proust

森 康 晃

日本フランス語フランス文学会研究発表

2017年6月3日(土)・6月4日(日)(全国春季大会、於東京大学)

- ・いま、パスカル・キニヤールを読むこと—コレクション刊行をきっかけに(ワークショップ)

小川美登里

2017年10月28日(土)・10月29日(日)(全国秋季大会、於名古屋大学)

- ・ゾラ『クロードの告白』における「郊外」から「自然」への道—ゴンクール兄弟『ジェルミニ・ラセルトゥー』書評を通して

安達孝信

- ・マルロー『王道』における共同体

井上俊博

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第81回研究会 2017年10月7日(土)(於大阪大学文学部棟2階大会議室)

- ・スタール夫人における天才像

植村実江

- ・カミュ後期の著作における植物の表象と「再生」のテーマ

安藤麻貴

司会：高岡尚子

- ・Entre libération du texte et uniformisation littéraire : le paradoxe de la littérature mondialisée chez Murakami Haruki

Benjamin Salagnon

司会：Christophe Garrabet

第82回研究会 2018年3月3日(土)(於大阪大学文学部棟2階大会議室)

・レミ・ベローにおける牧歌の詩学—*La Bergerie* (1565)を中心に

林 千 宏

・ドービニェとジャンル

濱 田 明

司会：岩 根 久

・フランス語使役文における被使役者名詞句の表現形式について

木 内 良 行

司会：井 元 秀 剛